

平成21年1月16日

関係各位

岐阜県森林研究所長

平成20年度第2回岐阜県森林研究所研究・成果発表会の開催について

日頃は、当所の試験研究業務の推進にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、当所では、下記のとおり研究・成果発表会を開催します。つきましては、多くの方に参加いただくとともに、関係者へお知らせいただきますようご案内申し上げます。

記

1. 開催日時および場所

日時：平成21年2月19日（木曜日）13：30～17：00（開場 13：00）

場所：中濃総合庁舎5階大会議室

〒501-3756 岐阜県美濃市生櫛1612-2 TEL(0575)33-4011

<http://www.pref.gifu.lg.jp/pref/common/facility/map005.htm>

2. 発表内容

①「ナラ枯れにおける抵抗性機構」（高井和之）

樹木は病害虫から身を守るためさまざまな防御能力をもち、そこには樹木の抵抗性機構が働いているとされています。今回はナラ類が集団で枯死する「ナラ枯れ」における樹木の反応現象について紹介します。

②コナラのクローン増殖（茂木靖和）

親の性質を受け継いだ苗は、クローン増殖で育成する必要があります。ナラ枯れの原因とされるカシノナガキクイムシが穿孔したにもかかわらず生存したコナラのクローン増殖を紹介します。

③地域特産サンショウの優良苗作りについて（上辻久敬）

高山市（旧上宝村）では実サンショウの栽培が行われています。産地で栽培されてきているサンショウの優良な形質を受け継ぐ苗を効率的に作る方法について研究結果を紹介します。

④「廃菌床を使ったキノコ栽培とは」（久田善純）

キノコの菌床栽培後に残る「廃菌床」をもう一度キノコ栽培の材料に使う研究が各地で行われています。その利点と問題点について、当所で行った試験結果を踏まえ報告します。

⑤択伐林で木を伐らないとどうなるか ～択伐休止林の現在・未来～（大洞智宏）

近年、関ヶ原今須地域の択伐林でも、木材価格の低下などにより積極的に伐採が行われなため、林の様子が変化したといわれています。そこで、択伐林がどのように変化したかについて報告します。

⑥GPSによる森林管理ツールの開発（古川邦明）

小型で高感度なGPSなどのIT機器が安価に入手できるようになり、誰もが森林内での位置計測にGPSを使える環境になりました。そこでGPS計測したデータを活用するためのツールを作成しましたので紹介します。

3. 参加料及び定員：無料、100人

4. 参加申し込み期限：2月12日（木）

5. 申し込み及び問い合わせ先

岐阜県森林研究所 天野、杉山

〒501-3714 岐阜県美濃市曾代1128-1

TEL:0575-33-2585、FAX:0575-33-2584

e-mail sugiyama-masanori@pref.gifu.lg.jp